

CASBEE-建築(新築)2016年版
(仮称)南柏1丁目学生マンション 新築工事

■使用評価マニュアル CASBEE-建築(新築)2016年版
 ■評価ソフト: CASBEE 柏2016(v2.1)

欄に数値またはコメントを記入

スコアシート		実施設計段階							
配慮項目	環境配慮設計の概要記入欄	評価点	重み係数	評価点	重み係数	全体			
		Q 建築物の環境品質							3.0
Q1 室内環境			0.40		-		3.3		
1 音環境		3.0	1.00	3.0	1.00		3.0		
1.1 室内騒音レベル		3.0	1.00	3.0	0.50				
1.2 遮音		-	-	3.0	0.50				
1 開口部遮音性能		-	-	3.0	0.30				
2 界壁遮音性能		-	-	3.0	0.30				
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)	二重床構造とすることで衝撃音の吸収	-	-	3.0	0.20				
4 界床遮音性能(重量衝撃源)	二重床構造とすることで衝撃音の吸収	-	-	3.0	0.20				
1.3 吸音		-	-	-	-				
2 温熱環境		2.6	0.35	2.6	1.00		2.6		
2.1 室温制御		3.0	0.50	3.0	0.50				
1 室温		3.0	0.63	3.0	0.63				
2 外皮性能		3.0	0.38	3.0	0.38				
3 ゾーン別制御性		-	-	-	-				
2.2 湿度制御		1.0	0.20	1.0	0.20				
2.3 空調方式		3.0	0.30	3.0	0.30				
3 光・視環境		2.7	0.25	3.9	1.00		3.7		
3.1 昼光利用		4.2	0.30	4.0	0.30				
1 昼光率	各部屋に大窓を設置し太陽光の取り入れを試みた	5.0	0.60	5.0	0.50				
2 方位別開口		-	-	3.0	0.30				
3 昼光利用設備		3.0	0.40	3.0	0.20				
3.2 グレア対策		1.0	0.30	4.0	0.30				
1 昼光制御	バルコニー等の設置	1.0	1.00	4.0	1.00				
3.3 照度	LED照明を設置することで消費電力を削減し台数を増加させた	3.0	0.15	5.0	0.15				
3.4 照明制御		3.0	0.25	3.0	0.25				
4 空気質環境		4.2	0.25	4.2	1.00		4.2		
4.1 発生源対策		5.0	0.60	5.0	0.63				
1 化学汚染物質	F☆☆☆☆の建材中心に仕様設定している	5.0	1.00	5.0	1.00				
4.2 換気		3.0	0.40	3.0	0.38				
1 換気量		3.0	0.50	3.0	0.33				
2 自然換気性能		-	-	3.0	0.33				
3 取り入れ外気への配慮		3.0	0.50	3.0	0.33				
4.3 運用管理		-	-	-	-				
1 CO ₂ の監視		-	-	-	-				
2 喫煙の制御		-	-	-	-				
Q2 サービス性能		-	0.30	-	-		3.2		
1 機能性		3.3	0.40	3.0	1.00		3.0		
1.1 機能性・使いやすさ		3.0	0.40	3.0	0.60				
1 広さ・収納性		-	-	-	-				
2 高度情報通信設備対応		3.0	1.00	3.0	1.00				
3 バリアフリー計画		3.0	0.30	3.0	0.40				
1.2 心理性・快適性		3.0	0.30	3.0	0.40				
1 広さ感・景観		-	-	3.0	0.50				
2 リフレッシュスペース		-	-	-	-				
3 内装計画	天井高さを2400にし開放感のある空間とした。	3.0	1.00	3.0	0.50				
1.3 維持管理		4.0	0.30	-	-				
1 維持管理に配慮した設計	維持管理を基準に内装、外装ともに仕様を決定	4.0	0.50	-	-				
2 維持管理用機能の確保	維持管理機能を有効的に使用できるようハード面においては配慮	4.0	0.50	-	-				
2 耐用性・信頼性		2.9	0.30	-	-		2.9		
2.1 耐震・免震・制震・制振		3.0	0.50	-	-				
1 耐震性(建物のこわれにくさ)		3.0	0.80	-	-				
2 免震・制震・制振性能		3.0	0.20	-	-				
2.2 部品・部材の耐用年数		2.8	0.30	-	-				
1 躯体材料の耐用年数		3.0	0.20	-	-				
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔		2.0	0.20	-	-				
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔		3.0	0.10	-	-				
4 空調換気ダクトの更新必要間隔		3.0	0.10	-	-				
5 空調・給排水配管の更新必要間隔		3.0	0.20	-	-				
6 主要設備機器の更新必要間隔		3.0	0.20	-	-				
2.4 信頼性		3.2	0.20	-	-				
1 空調・換気設備		3.0	0.20	-	-				
2 給排水・衛生設備	災害時、緊急時においても対応できるように配慮	4.0	0.20	-	-				
3 電気設備		3.0	0.20	-	-				
4 機械・配管支持方法		3.0	0.20	-	-				
5 通信・情報設備		3.0	0.20	-	-				

3 対応性・更新性			3.2	0.30	3.8	1.00	3.7
3.1 空間のゆとり				-	4.6	0.50	
1	階高のゆとり	階高にゆとりをとり、配管スペース、室内スペースを確保した		-	5.0	0.60	
2	空間の形状・自由さ			-	4.0	0.40	
3.2 荷重のゆとり				-	3.0	0.50	
3.3 設備の更新性			3.2	1.00		-	
1	空調配管の更新性		3.0	0.20		-	
2	給排水管の更新性	二重床を設定することで床上配管を可能とし更新性を高めた	4.0	0.20		-	
3	電気配線の更新性		3.0	0.10		-	
4	通信配線の更新性		3.0	0.10		-	
5	設備機器の更新性		3.0	0.20		-	
6	バックアップスペースの確保		3.0	0.20		-	
Q3 室外環境(敷地内)			-	0.30	-	-	2.5
1 生物環境の保全と創出			2.0	0.30	-	-	2.0
2 まちなみ・景観への配慮		商業地域内においても敷地内空地、緑地を確保し三次元的な空間	3.0	0.40	-	-	3.0
3 地域性・アメニティへの配慮			2.5	0.30	-	-	2.5
3.1 地域性への配慮、快適性の向上			3.0	0.50	-	-	
3.2 敷地内温熱環境の向上			2.0	0.50	-	-	
LR 建築物の環境負荷低減性			-	-	-	-	3.2
LR1 エネルギー			-	0.40	-	-	3.8
1 建物外皮の熱負荷抑制			4.0	0.20	-	-	4.0
2 自然エネルギー利用			3.0	0.10	-	-	3.0
3 設備システムの高効率化		[BEI][BEIm] = 0.89	4.2	0.50	-	-	4.2
4 効率的運用			3.0	0.20	-	-	3.0
集合住宅以外の評価				-	-	-	
4.1	モニタリング			-	-	-	
4.2	運用管理体制		3.0	-	-	-	
集合住宅の評価			3.0	1.00	-	-	
4.1	モニタリング		3.0	0.50	-	-	
4.2	運用管理体制		3.0	0.50	-	-	
LR2 資源・マテリアル			-	0.30	-	-	3.1
1 水資源保護			3.4	0.20	-	-	3.4
1.1 節水		節水便器等を使用し可能な限りの節水仕様とした	4.0	0.40	-	-	
1.2 雨水利用・雑排水等の利用			3.0	0.60	-	-	
1	雨水利用システム導入の有無		3.0	1.00	-	-	
2	雑排水等利用システム導入の有無		-	-	-	-	
2 非再生性資源の使用量削減			3.0	0.60	-	-	3.0
2.1 材料使用量の削減			3.0	0.11	-	-	
2.2 既存建築躯体等の継続使用			3.0	0.22	-	-	
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用		-	3.0	0.22	-	-	
2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用			1.0	0.22	-	-	
2.5 持続可能な森林から産出された木材			-	-	-	-	
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み		二重壁、床、天井とした。また住宅設備はユニット型を使用	5.0	0.22	-	-	
3 汚染物質含有材料の使用回避			3.2	0.20	-	-	3.2
3.1 有害物質を含まない材料の使用			3.0	0.30	-	-	
3.2 フロン・ハロンの回避			3.3	0.70	-	-	
1	消火剤	市販消火剤にて対応	4.0	0.33	-	-	
2	発泡剤(断熱材等)		3.0	0.33	-	-	
3	冷媒		3.0	0.33	-	-	
LR3 敷地外環境			-	0.30	-	-	2.6
1 地球温暖化への配慮		断熱性能を高めた設計とした	3.0	0.33	-	-	3.0
2 地域環境への配慮			2.4	0.33	-	-	2.4
2.1 大気汚染防止			3.0	0.25	-	-	
2.2 温熱環境悪化の改善			2.0	0.50	-	-	
2.3 地域インフラへの負荷抑制			2.7	0.25	-	-	
1	雨水排水負荷低減		3.0	0.25	-	-	
2	汚水処理負荷抑制		3.0	0.25	-	-	
3	交通負荷抑制	自転車置き場を適切に設置し、違法駐車を防止するため敷地の奥	2.0	0.25	-	-	
4	廃棄物処理負荷抑制		3.0	0.25	-	-	
3 周辺環境への配慮			2.5	0.33	-	-	2.5
3.1 騒音・振動・悪臭の防止			3.0	0.40	-	-	
1	騒音		3.0	0.33	-	-	
2	振動		3.0	0.33	-	-	
3	悪臭		3.0	0.33	-	-	
3.2 風害、砂塵、日照阻害の抑制			2.3	0.40	-	-	
1	風害の抑制		2.0	0.70	-	-	
2	砂塵の抑制		1.0	-	-	-	
3	日照阻害の抑制		3.0	0.30	-	-	
3.3 光害の抑制			2.3	0.20	-	-	
1	屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策		2.0	0.70	-	-	
2	屋光の建物外壁による反射光(グレア)への対策		3.0	0.30	-	-	